



## 大洗海の大学とは

NPO法人「大洗海の大学」は、「まちづくりは人づくり」を理念に掲げ、経験豊かな住民（＝教授）と子どもから大人までの参加者（＝学生）に楽しい安全な「本物体験」を提供することを使命としています。

大洗町の砂浜・磯浜・汽水域・港・街の全体を大学のキャンパスと捉え、この水辺の環境を活かした活動に住民が参画し、地元の良さと問題を認識することにより活気ある「まちづくり」に繋がります。一方、参加者は、水辺の遊び体験や郷土に因んだものづくり体験を通して地球環境について学び、また、達成感や豊かな感性を育みます。そして、出会った人々たちの「輪」を広げ、やがて仲間の中から指導者の誕生をみるでしょう。これが、



「安心・安全入門講座」気道確保の実演風景

## 大洗の豊かな 地域性を活かした 人づくり」に挑戦

大洗海の大学が目指す「人づくり」です。

このように、大洗海の大学は、大洗の豊かな地域性を活かした「まちづくり」と「人づくり」の活動を繰り返し行っています。

### これまでの取り組み

平成15年10月にNPO法人の認証を受けて翌年4月に開校し、今年創立5周年を迎えます。大洗海の大学の「浜」、「風」、「波」、「渚」、「川」、「緑」、「釣」の7学部には、漁業体験、旬の魚料理、貝あわせ、磯あそび、釣り等の地域産業を活かした講座、サーフィン、カヌー、ヨット等のマリンスポーツ教室、歴史探訪等の郷土講座があります。これらの講座の開催実績をもとに次のような特別な講座を実施しました。



NPO 法人大洗海の大学  
代表理事  
飯島 一敬

NPO法人の社会貢献として、水辺の安心・安全入門「これだけは知っておきたい」「はじめてのプール監視」講座を学校や保護者を対象に地域の体育館を会場にして無料で開催しました。また、指導者養成の一環として、茨城大学教授による海藻を使った「アオサで染める緑」講座等を実施しました。

更には、小中学生を対象にした12日間スポーツキャンプ「水が賢くしてくれ」や「ジュニアウォーターワイズキャンプ2007」、団塊の世代向け「定年者のための漁業体験」講座、市民参画による



ジュニアウォーターワイズキャンプ2007  
(カヌー・川下り、元気な全員！)

指導者養成講座  
「アオサで染める緑」の指導者と参加者



視察研修等の「みなどの賑わい創出担い手育成支援事業」講座を開催しました。なお、これらの事業は、茨城県、大洗町、笹川スポーツ財団からの助成を受けて実施しています。

大洗から「海の力」を全国へ発信

第25回地域づくり団体全国研修交流会茨城大会が平成20年2月に開催され、大洗海の大学のテーマは、「海に遊び、海に学び、海を活かすまちづくり」を探そう！大洗の海で感じる新たな可能性としました。山形県、宮城県、愛媛県等から21名を迎えて行われた分科会は、1日目第一部「入学式」当大学「教授」による活動報告、第二部「研修交流会」夜なべ談義では、大洗町青年団体も加わり、アンコウどぶ汁、大ハマグリ、地酒を交えての意見交換、翌朝「暁ビーチコーミング」、2日目第三部「体験研修」干物づくり、海賊染め、貝あわせ講座体験、第四部「昼食交流会」地元中学生による大洗調査の発表、第五部「修了式」修了証書授与・講評をもって2日間の幕を閉じました。

参加者からは、「地域の総戦力で運営

し魅力的、「今後は海のもつ特性や、国民にとつてなくてはならないものなど環境における重要さを全国的に、世界に発信してほしい」等の激励をいただきました。大洗海の大学としては、「集客・費用・運営方法等の抱えている課題を報告し、参加者の意見を聞けると良かった」、「夜なべ談義、昼食交流会では、参加者間の意見交換が有効にできるように設定すべきだった」等があり、今後の地域ぐるみの「まちづくり」活動につなげたいと考えています。



地域づくり団体全国研修交流会大洗分科会の入学式

磯あそび教室  
(昔磯で遊んだ子どもが今は教授！)



サーフィン教室  
(波に乗れた瞬間！)

大洗海の大学の目指すところ

これからは、大洗海の大学の7学部を活かしたプロジェクト「ウォーターリング」構想、すなわち、水を核にして多様な地域をつなぐ体験活動や関わる人の輪を広げる活動を展開したいと考えています。平成20年度は、日本財団の助成事業として、大洗で親子がいろいろ体験する通年型「大洗親子海族キャンプ」や水辺体験活動フォーラム(仮称)を開催し、「水が賢くしてくれる(ウォーターワイズ)」を旗印に、水辺での体験活動の重要性を大洗から全国へ発信したいと願っています。